

平成 30 年 1 月 12 日

国土交通省 中部地方整備局

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会 第一部会第3回定例会議を開催しました

－ 審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

平成29年度第2四半期(平成29年7月から9月まで)に発注した工事等の中から抽出した8件の事案について審議を行いました。

審議概要をお知らせいたします。

1. 開催日時及び場所
日 時：平成29年12月19日(火)
9時30分～11時30分
場 所：大津橋ビル「大津橋会館」
2. 議 事 概 要
「表1」のとおり
3. 解 禁
指定なし
4. 配 布 先
中部地方整備局記者クラブ
5. 問い合わせ先
中部地方整備局 主任監査官 坪内 透
☎ 052-953-8113

表 1

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会
第一部会 第3回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成29年12月19日（火） 9時30分～11時30分 大津橋ビル「大津橋会館」 5階 大会議室	
委員	部長：尾島 茂樹（大学院教授） 委員：大島 嘉秋（公認会計士） 中村 麻理（大学教授） 橋本 修三（弁護士） （委員は五十音順）	
審議対象期間	平成29年 7 月 1 日～平成29年 9 月30日	
抽出案件	総件数 8 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式 （ 拡 大 ）	5 件	
【建設コンサルタント業務等】		
指名競争入札方式	1 件	
簡易公募型 プロポーザル方式	1 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
一般競争入札方式	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	な し	

表 2

抽出事案一覧表

【工事】

(期間:平成29年7月1日～平成29年9月30日)

番号	工事名	工事種別	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契約 締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(一般競争入札方式)								
1	平成29年度 美濃加茂管内交通安全工事	維持修繕	2	2	H29.9.15	(株)友進道路	117,720	83.44	岐阜国道事務所(分任官契約)
2	平成29年度 41号常泉寺川橋鋼上部工事	鋼橋上部	9	9	H29.8.16	宇野重工(株)	156,600	90.17	高山国道事務所(分任官契約)
3	平成29年度 矢作川豊田高橋下部工事	一般土木	7	7	H29.8.21	小原建設(株)	109,080	93.49	豊橋河川事務所(分任官契約)
4	平成29年度 23号寛政地区橋梁補強補修工事	維持修繕	13	13	H29.7.19	ショーボンド建設(株)	234,360	90.37	名古屋国道事務所(分任官契約)
5	平成29年度 矢作ダム受変電設備工事	受変電設備	7	6	H29.9.28	(株)大三洋行	84,240	90.22	矢作ダム管理所(分任官契約)

【建設コンサルタント業務等】

番号	業務名	業種区分	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契約 締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(指名競争入札方式)								
6	平成29年度 美和ダム再開発湖内堆砂対策施設地質調査業務	地質調査	13	13	H29.8.24	(株)テイコク	7,041	80.79	三峰川総合開発工事事務所(分任官契約)
	(簡易公募型プロポーザル方式)								
7	平成29年度 設楽ダム瀬戸設楽線橋梁詳細修正設計業務	土木コン	1	1	H29.9.19	(株)オリエンタルコンサルタンツ	59,400	99.31	設楽ダム工事事務所(分任官契約)

【役務の提供等及び物品の製造等】

番号	業務名	業務分類	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契約 締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(一般競争入札方式)								
8	平成29年度 連絡車2台交換購入(庄内川)	物品の販売	3	3	H29.9.8	(株)ミリオンオートサービス	3,806	79.68	庄内川河川事務所(分任官契約)

表3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

I. 議 事		
(1)報 告	意見・質問	回 答
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④指名停止等の運用状況一覧表 ⑤談合情報等の対応状況 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況	「H29静岡県警察学校炊食浴棟設計その2業務」の随意契約理由について、当初設計の受注者がその設計内容の意図を工事受注者に伝えるためということだが、当初の設計業務に、その伝えることまでを含めて発注することはできないのか。	当初の設計業務を行っている段階では、工事の予算措置が不明確であり、工事発注時期が確定した段階で改めて設計内容の意図を伝達する業務を随意契約で発注している。
(2)審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回 答
【工事】 一般競争入札方式(拡大)		
1. 平成29年度美濃加茂管内交通安全工事	<p>入札参加者数が2者と少ないが、地域要件を岐阜県内に広げる考えはないのか。</p> <p>また、工事箇所が県境付近であれば、例えば工事箇所から半径10km以内の隣県まで地域要件を広げても良いのではないかと思うが如何か。</p> <p>低入札価格調査の実施概要の中で、「13. 経営状況」については「公表しない」となっているが、非公開としているのはどういう理由か。また「14. 信用状況」については「支障なし。」としているが、どのような調査、確認を行っているのか。</p>	<p>今回、当該地域要件で要件を満足している業者数として62者、申請資料等をダウンロードした者で16者確認しているが、結果として入札参加者は2者となった。要因として考えられるのは、工事箇所が点在し現道を規制しながらとなるため施工が難しいこと。また、ガードレール設置、舗装等の工種が多いことから下請に入る者数も多くなるため、利益が確保しにくい状況も想定されることからではないかと推察している。</p> <p>地域要件の拡大については、岐阜県内に広げるということも一つの方法ではあるが、本工事に求めている施工実績は、同種工事として防護柵設置の施工のみであったが、参加資格要件を広げて類似工事も設定していく工夫や、また、当事務所発注の他の工事の発注時期と比べると遅めになっており、先の工事に技術者が取られ、参加者が少なくなったことも考えられることから、発注時期についても工夫をしていきたいと考えている。</p> <p>この地域の建設業界の団体とコミュニケーションを図る機会もあることから、そのような機会の中で、今後、入札参加者を増やしていく上で、地理的条件等を変えていくことでメリットが大きくなるのであれば、地域要件を広げていくことも検討していきたい。</p> <p>経営状況については、経営状況調査機関に経営内容を確認し問題はなかったが、企業情報ということもあり、当該実施概要においては、公表しないこととしている。また、信用状況については、建設業保証会社での過去の保証状況や、県で請け負っている工事での履行状況等で問題がなかったことを確認し、支障がないと判断したものである。</p>

抽出案件	意見・質問	回 答
	<p>落札者の施工体制の評価点が0点となっているが、低入札価格調査においては工事は履行できるとしている。施工体制が確保できないとしていながら、施工に問題が無いというようにも捉えられるが、どのように理解すればよいか。</p>	<p>施工体制の評価の際に入札参加者とヒアリングを行い、その際に一番大きかったポイントが予定価格と入札金額と大きな乖離であったことから、一番乖離が大きかった工種等について、その価格の根拠について具体的な資料提出や説明を求めたが、十分な根拠が示されなかったことから、施工体制評価点の加算点は無しと評価した。</p> <p>一方、低入札価格調査については、施工体制の評価から一定期間経過後に実施したものであるが、その際には、一番乖離が大きかった工種等の価格の根拠等が整理され、その他、企業としての信用状態や経営状態、下請会社への支払状況、社員への給与の支給状況等、企業の体力等も含めて確認し、履行できるものと判断したものである。</p>
【工事】 一般競争入札方式(拡大)		
2. 平成29年度 41号常泉寺川橋鋼上部工事	<p>入札無効となった者が5者あるが、どのような理由によるものか。</p>	<p>調査基準価格未満で入札した5者に対して、施工体制確認のための追加資料の提出を求めたが、提出しない旨の意思表示があったため入札無効としたものである。追加資料作成等の時間的な労力等を考え、各者の判断で提出を辞退したものと推察される。</p>
【工事】 一般競争入札方式(拡大)		
3. 平成29年度 矢作川豊田高橋下部工事	<p>質 疑 な し</p>	
【工事】 一般競争入札方式(拡大)		
4. 平成29年度 23号寛政地区橋梁補強補修工事	<p>配置予定技術者を複数立てて申請している入札参加者があるが、この場合の技術者の能力の評価はについてはどのようなになるのか。</p> <p>予定価格超過の入札参加者が多くあり、また一方で、調査基準価格未満の者もあり、入札金額にバラツキがあるがどういった理由が考えられるか。</p> <p>材料単価の特別調査について、今後、見直し等の方向性はないのか。</p>	<p>複数の配置予定技術者を立てて申請された場合の評価方法については、各々評価を行い、一番評価の低い技術者の評価を予定技術者の評価点として計上している。</p> <p>当方の積算で特別調査により材料単価を積算したものがあり、この単価は公表していないため、この部分で入札金額にバラツキが出ている。</p> <p>本工事は、特別調査が必要な材料を使って積算したが、今回の入札状況結果から見直し等の余地もあるのではないかと考えている。</p>
【工事】 一般競争入札方式(拡大)		
5. 平成29年度 矢作ダム受変電設備工事	<p>質 疑 な し</p>	

抽出案件	意見・質問	回 答
【建設コンサルタント業務等】 指名競争入札方式		
6. 平成29年度 美和ダム再開発湖内 堆砂対策施設地質調 査業務	指名競争入札方式を採用した理由を教えてください。	「建設コンサルタント業務等における入札・契約手続きに関するガイドライン」に基づき、3,000万円未満の業務で、実施手順等が比較的単純化された業務、又は同じような内容の業務発注が多数ある業務で、過去の発注実績等で指名する者のリストがしっかり作成できるようなものは指名競争入札方式を採用している。
	ガイドラインの考え方で、条件を満たすものは、指名競争入札方式にしても良いということなのか、もしくは指名競争入札方式にしなければいけないということなのか。	指名競争入札方式を採用しなければいけないというのではなく、各業務の発注内容に応じて、適宜判断することとなる。 なお、指名競争入札方式は、入札契約手続きにかかる期間が短期間で済むということで、総合評価落札方式を採用すれば公告から約2ヶ月程度かかるものが、約1ヶ月弱程度で落札決定することができるメリットがある。
	入札金額が652万円で一致している者が6者いるが、どのような理由が考えられるか。	本業務は予定価格が1,000万円以下であるため調査基準価格の設定は無いが、中部地整の運用でこれに代わる「品質確保基準価格」というものを設定している。一般的に地質調査業務のうちボーリング調査は非常に定形化された業務であり、歩掛かりや積算基準が公表されており、かなりの精度で積算できる状況にあることから、予定価格や品質確保基準価格も推測することができ、その価格に入札金額が集中していることが推察される。 なお、品質確保基準価格を下回った場合については、調査基準価格を下回った場合と同等に、品質確保のための技術者の増員配置や、代表者からの品質証明書を提出すること等を義務付けている。
【建設コンサルタント業務等】 簡易公募型プロポーザル方式		
7. 平成29年度 設楽ダム瀬戸設楽線 橋梁詳細修正設計業 務	1者のみの応募であったが、応募者を増やすための検討はされたのか。	応募要件の業務実績において、同種業務のみでは参加可能者数が少なかったため、参加可能者を増やすために類似業務を設けたが、結果として1者の応募となった。
【役務の提供等及び物品の製造等】 一般競争入札方式		
8. 平成29年度 連絡車2台交換購入 (庄内川)	自動車販売を行っている企業はディーラー等も含めると入札参加者が多いのではないと思うが、本件の参加者数は3者と少ないのはなぜか。	本件の競争参加資格で設定した等級は、発注予定金額により一般競争参加資格(全省庁統一資格)「物品の販売」の東海・北陸地域の認定を受け、C又はD等級に格付けされた者としており、大手のディーラー等は、A又はB等級の企業が多いことから競争参加資格が無い。また、本件は下取り車両と交換することが条件となっており、下取り車両価格や調達車両の値引き等について各者検討、判断されたと推察している。
	他の同種の契約の落札率を見るとかなりバラツキがあるが、今回の落札率についてはどう評価するか。	調達台数や下取り車両等、各契約毎に状況が異なるため、一概に今回の落札率が高い、低いの評価は難しい。
	総合評価落札方式ということで、評価項目が主に環境に配慮した内容で、燃費が良い車を納入した者が有利になると考えられるが、評価項目等は決まっているものなのか。 また、結果として評価点が一番高い者が落札したが問題はないのか。	評価項目、評価方法等については環境省で定めているものを適用している。 本件は、入札金額と環境性能を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価落札方式であることから、最低の応札金額よりも評価点が上位の者が逆転して落札する場合もある。